

ちよきちよきルーム楽・新型コロナウイルス感染症予防策 —ガイドライン 2021.3.10版—

1. 開店準備

- ・従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛、嗅覚・味覚異常等の症状があるときは自宅待機とする。
- ・従業員が感染した場合、若しくは濃厚接触者となった場合は、入院等の必要がない場合においても自宅待機し管理者へ連絡する。
- ・お客様情報を収集するチェックシートを用意する。（もしウイルス感染をしていた場合、一緒にいた従業員や接客したお客様の追跡ができ、感染拡大の抑止にもなる。）
- ・開店に備えて準備から片付け終了までの間、換気扇を常時稼働させるほか、ドアや窓を開けるなど店内の換気を十分に（8:30～9:00入口開放）。
- ・空調の必要ない時は入口を網戸にして、常時換気をおこなう。
- ・ドアが開けられない場合（冷暖房使用時）は、常時、換気扇、空気清浄機、サーキュレーター等を活用して、空気の流れを作って空気を入れ替える。
- ・入口に靴底消毒マットを設置。
- ・座席の間をパーテーションで遮断する。
- ・消毒液の補充や、備品類の消毒。
- ・従業員の出入りは事務所入り口を使用し、お客様との動線は、パーテーションで分離する。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策協賛店は、ステッカーとチェックリストを入口に掲示する。

2. 予約受付

- ・フィジカルディスタンスを確保できるよう施設規模に応じた予約制にする。
なお、施設内でのフィジカルディスタンスを確保するため、美容椅子を2台とし、同時施術人数の上限を2名までとする。
また、2台の美容椅子間の距離は2m以上確保する。
- ・お客様には、来店時は必ずマスクを着用するようお願いし、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるときは来店頂かないように要請する。

3. 来店・席案内

- ・来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りする。（お客様の体温確認の為、非接触の体温計を使用する。）
- ・来店時にお客様がマスクを着用していない場合は、着用していただくように要請する。ない場合は、不織布マスクを提供する。
- ・布マスクのお客様には、不織布マスクを提供し着用していただく。
- ・来店時は靴底の消毒をおこなっていただく。
- ・出入口に手指消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請する。
- ・お客様にチェックシートに連絡先等を記入していただく。（チェックシートは少なくとも2週間は保管する。）
- ・順番待ちのお客様が密集しないように、車で待っていただくよう声掛けをする。
- ・お客様に、大声での会話は控えていただくよう要請する。

4. 美容行為

- ・美容行為時は美容師、お客様双方がマスクを着用する。
- ・お客様ごとの美容行為の前後に手洗い・うがい、手指消毒をする。
- ・クロスやハサミ、クシ、ヘアクリップ等のお客様に触れる器具は、お客様ごとにアルコール消毒したものを使用する。（紫外線消毒器も使用）
※紫外線消毒器は、ランプの点灯を確認してから使用する。ランプが切れている場合は、取扱説明書を確認し、正しく交換を行う。
- ・使用済みのクロス、タオルは、蓋つきの入れ物に区別する。
- ・シャンプー台への移動など、お客様が店内を移動する際、お客様同士が接触しないようにする。
- ・施術後、触れられた場所はお客様ごとに清拭消毒する。（共有する場所や機材のアルコール消毒）
※次亜塩素酸ナトリウムでの消毒（金属部には使用しない）（500ppm）
 - ・椅子
 - ・眼鏡等の小物入れ
 - ・金銭受取トレイ、レジ
- ※消毒用のアルコールでの消毒（68%）
 - ・ドアノブ等
 - ・トイレの流水レバー等、トイレの中全般
 - ・リモコン

5. 会計

- 会計するとき現金を扱う場合は、手渡しを避け、トレイに置いて受け渡す。
- 電子決済を呼びかけ活用していく。PayPay aupay d払いの3種類で対応。
(※2021.4月頃までにクレジットカード、電子マネー決済を導入予定)
- 現金の受け渡し後は手やレジを消毒する。

6. 営業終了後の片付け

- 翌日の営業に備えて、ドアを開けて店内の十分な換気を行う。
- 店内清掃を徹底し、ドアノブ、椅子、テーブル、カウンター、トイレの便座、流水レバー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び、消毒液による消毒をする。
- 店内で着用した作業衣や衣服は毎日洗濯を行う。

7. 店舗の管理

- 感染防止啓発のポスター、POP等を掲示し、注意喚起を促す。
- 客席は最大2席にして、なるべく時間が重ならないようにする。
- 換気設備を定期的(1回/月以上)に点検する。換気扇、空気清浄機のフィルター、エアコンのフィルターの清掃。
- 洋式トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すように掲示する。
- 手洗い後の拭き取りは、ペーパータオルを使用する。
- ゴミは、蓋付きのごみ箱に入れて密閉する。
- スタッフの休憩は時間をずらす、又は、場所を別けて行う。マスクを使用していないときの会話はしないようにする。

8. 出張美容

- 出張当日の朝に検温し、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある場合は出張を中止する。
- 美容行為をするときの感染予防の手順
 - ① 飛沫感染予防ガウン着用・・・使用後は袋に入れて持ち帰り、洗濯。
 - ② 使い捨てマスクの着用・・・使用後は袋に入れて持ち帰り、廃棄
 - ③ 検温・・・お客様（自宅出張のみ）と職員
 - ④ 手指消毒・・・お客様（自宅出張のみ）と職員
 - ⑤ 消毒ミストスプレー・・・ガウンや空間に細かいミストを噴射する。
 - ⑥ うがい、手洗い・・・使い捨てペーパータオルを使用
 - ⑦ ゴミは全て持ち帰り処分
 - ⑧ 病院などベッド上での施術の場合は、手袋、フェイスシールドの着用
- ウイルス感染予防と、消毒作業の為、予約を分散させる。
- 出張の感染予防対策も、上記にふまえ、4.美容行為と同じとする。

9. その他

- COCOAの推奨。
- キャッシュレスの推奨。
- こまめな手洗い、消毒(携帯消毒スプレーを携行)を心がける。
- コロナウイルスに関する正しい情報収集に心がけ、噂話や、誹謗中傷になるような会話はしない。
- セルフケア(睡眠・食事)をしっかりおこない、体調管理に心がける。
- 別紙1の業務流れ(手順書)と合わせて業務にあたる。